

生活相談員 介護福祉士 介護士

介護って どんな仕事？

介護士 Vol.03

介護の「現場」にはどんな仕事があるのでしょうか？
働く場所や施設、サービス形態によって、
その働き方も様々です。
性別や年齢に関係なく活躍でき
「人と人とのつながり」を実感できる、
大きなやりがいを感じられる仕事です。
実際に介護現場で働く方々の1日を追い、
その魅力や仕事への思いを聞きました。



※この広告は、2020年度岩手県地域医療介護総合確保基金を活用しています。

「ゆくり食べてね」と声を掛けながら、利用者の昼食を介助する鎌田優希さん。



連携大切によりよいケアを

介護士 鎌田 優希さん 八幡平市 小規模多機能ホームくるまっこ

ほとんどが利用しており、鎌田さんは着替えや食事、排せつや入浴介助を行っています。「毎日のように顔を合わせる利用者さんとは、家族のような関係。笑顔で楽しんでいられる姿を見ることが、何よりのやりがい」と語り、なるべく会話をたくさんして、「コミュニケーションを取ることが大切になっています」。

「人と人とのつながりが、何をすることも私の原点。さまざまな経験をしてきた人生の先輩と関わることで、自分自身が成長させてもらえる仕事」と、さらなるステップアップを見据えています。

「もうおなかいっぱいですか？」利用者者に声を掛けながら昼食の介助を行う介護士の鎌田優希さん(34)。鎌田さんが働く八幡平市田頭の小規模多機能ホーム「くるまっこ」ではこの日、秋の味覚を味わうイベントが開かれ、利用者や職員が一緒になって新米やサンマを頬張りました。「立派なサンマだね「おいしいね」と会話が弾む姿は、まるで大きな家族のようです」。

要介護状態になり、より直接的に介護を必要とする人に関わりたいたいと思い転職を決意しました。

現在は11カ月から12歳まで、4人の子どもを育てながら働いている鎌田さん。同僚も子育て世代が多く、協力的な雰囲気を感じています。



普段から会話を大切に利用者とは触れ合う鎌田さん

企画協力 / 公益財団法人 介護労働安定センター岩手支部 企画制作 / 岩手日報社広告事業局

REWARDING WORK

私の一日



- 9:00 出社、利用者を含め朝礼
- 10:00~11:30 塗り絵やパズル、体操、入浴介助など、または訪問介護先へ
- 12:00 利用者と一緒に昼食
- 13:00~14:00 昼食片付け、トイレ介助など
- 14:00 ラジオ体操、散歩、ドライブなど
- 16:00 利用者見送り
- 16:30 掃除
- 17:00 退社

Life counselor Care worker Caregiver